

ますます増える世界の孤児たちに希望の人生を

孤児院に入ってくる子どもたちは、HIVに感染している孤児もおり、両親がいない子どもはもちろん、生年月日の分からない子どもや、もし孤児院に来ていなければ間違いなくもう生きてはいなかったと思える子どもたちばかりです。

現在、礎の石孤児院では、カンボジア、フィリピン、ザンビアにおいて孤児たちを受け入れ、孤児院としての働きをしております。また、日本において児童養護施設設立の支援をしていきます。私たちは、さらに多くの国々で孤児院の働きを始めていきたいと願っています。どうぞご支援をよろしくおねがい致します。

支援金送付先

当団体は認定NPOの認可を受けており、皆様のご寄付は「寄付金控除」の対象になります。

郵便振替	【口座番号】 00130-5-24249 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2069305 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院
銀行振込口座	みずほ銀行 五反田支店 【口座番号】 普通 2915961 【口座名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため
郵便振替口座	【口座番号】 00120-5-417839 【加入者名】 特定非営利活動法人 礎の石孤児院 日本での孤児院設立及び支援のため

礎の石孤児院・会員(パートナー)募集中

私たちNPO法人「礎の石孤児院」では皆様のご支援金によって各孤児院の運営が支えられており、子どもたちが養われております。定期的に支援金をもって支えてくださる会員を募集しております。

- 会費:1口500円~/月 ●お一人様、何口でも寄付できます
- 会費の納入は【一括】もしくは【分割】を選択できます

お申し込みは郵便番号・住所・氏名・電話番号・メールアドレスをお書き添えの上、下記の住所またはEメールアドレスまでお送りください。(※正会員のお申し込みをご希望の方は事務局にお問い合わせ願います)

特定非営利活動法人 礎の石孤児院東京事務局
〒141-0031 東京都品川区西五反田1-14-1 クレインズビル岩崎201
TEL:03-5740-8814 FAX:03-5740-8817
E-mail:ishizue@athena.ocn.ne.jp

礎の石孤児院WEBSITE <https://cornerstone.or.jp>

f 礎の石孤児院のFacebookページを「いいね!」して活動を応援してください。



カンボジアの子どもたち!(新しく入ったBNくん、右から2番目)

皆様の御支援、御協力、いつもありがとうございます。

先日のニューズレターで皆様にお伝えしていた私共の理事会は無事に終了し、あとは6月15日に行われる定期総会を待つだけというかたちになりました。

しかしながら、色々なかたちで報告されてくる各孤児院の状況を見るにあたり、円安の影響もあるのか、経済的に以前より厳しくなっていることを知らされ、本当に頭を悩ましてるところです。

さまざま働きの必要性や可能性がありながら、中々厳しいものがあります。そればかりか、既存の孤児院の運営にも、強いては子供達の成長にも影響ができてしまいます。

毎月の定期連絡には必ず、運営費の増額、を訴えてきています。

そのような厳しい状況の中でも、私共の、一人でも多くの孤児たちを助けたい、という思いに陰りがさすことはありません。

これからも皆様と共にこの働きを邁進させて行く所存です。

どうか、さらなる皆様の御支援、御協力、何卒よろしくごお願い申し上げます。

カンボジア孤児院レポート

ルツ前田

チョムリアプスワ!(こんにちは!)『礎の石孤児院』の働きの為の皆様からのご支援とご協力を、心から感謝申し上げます。4月末に、12歳の男の子BNを受入れました。彼は両親を交通事故で亡くして、その後保護を受けるようになった所で暴力を受けるようになった為、逃げ出してプノンペンまで来てしばらく路上生活をしていたそうです。ある日のこと、警察から不審に思われ、政府機関に連れて行かれて、その政府関係者の方が私達を知っておられて連れてこられました。生まれ故郷がどこなのか、彼から聞いて政府関係者の方とスタッフが探しに行きましたが家族も親戚も見つけることができませんでした。政府機関の方々との話し合いの結果、孤児院で受け入れることになりました。これから学校への入学手続や健康面のチェック、予防接種などが必要になりますし先日、早速歯科にも行きました。どうぞこれからBNが将来に希望を持って孤児院での生活が出来ますように、皆様のご支援と励ましを頂ければ幸いです。どうぞ、よろしくお願いいたします。



ここ最近、暑さが半端なく、外は50度以上あるかもです!氷を買って来て、頂いたジュースやおやつでブレイクタイムの時を持っています!

フィリピン孤児院レポート

エレノア・V・タイロス

フィリピンの子どもたちに対する皆様のご支援、ご協力を心から感謝致します。猛暑のため、しばらく学校がお休みになっていましたが、子どもたちは今、学期最後の試験と、残っている課題や宿題をクリアするために忙しく過ごしています。今年は10年生(中学3年生)から高校へ進む子どもが6人、6年生から中学へ進む子どもが4人、そして卒業論文に取り組んでいる高校生が5人います。先月行われた才能フェスティバル(The Festival of Talents)は本当に素晴らしいものでした。出場した子どもたちは全員、熱意をもって演じていて、その結果、高得点を受けました。子どもたちは皆、彼らのパフォーマンスが完璧でなかったとしても、次の段階に進むステップになったと話していました。来年度は34名の子どもたちの就学支援を行う予定です。そのための学校登録料や授業料、制服や文房具等の学用品代として総額\$7,349.82(約110万円)が必要です。皆さまの尊いご支援により、子どもたちは学校で教育を受けることが出来、大きく人生が変わられています。子どもたちが引き続き学校で学び続けられるように、皆様のご支援ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。



才能フェスティバル(The Festival of Talents)が行われました。

ザンビア孤児院レポート

シオン桜子ムタレ

ムリシャーニ(お元気ですか)?皆様の常日頃のご支援に心から感謝申し上げます。ザンビアは相変わらず毎日8~15時間の停電で、非常に不自由な生活を強いられています。特に停電時は井戸水の汲み上げができないため、生活用水の確保に苦心しています。しかも、今後18~24時間停電が始まる予想も出ているので、ソーラーパネルを購入して蓄電できるように祈っています。物価の上昇と円安により、生活自体もかなり厳しくなってきました。約100人の子どもたちへの毎日の給食が滞る事がないように、知恵を絞っています。このような状況の中ですが、プロジェクターや中古PCなど、ご寄付によって頂くことができました。そして、ご寄付で頂いた物品を完璧に使いこなす青年海外協力隊員やインターン達の助けを得て、私たちの学校は確実に前進を続けています。今年はこのような困難な状況にあっても、引き続き5千万円の資金を作り、中高等学校建設を完了させるという大きな目標を持っています。どうか引き続き、ご支援のほど宜しくお願い致します!



政府からトウモロコシ粉が破格の価格で放出された日、大勢の村人たちが自転車で購入に来ていた

松本弘子さんのイラスト



ザンビアの桜子さんと一緒に顕微鏡の見方を学ぶ女の子たち